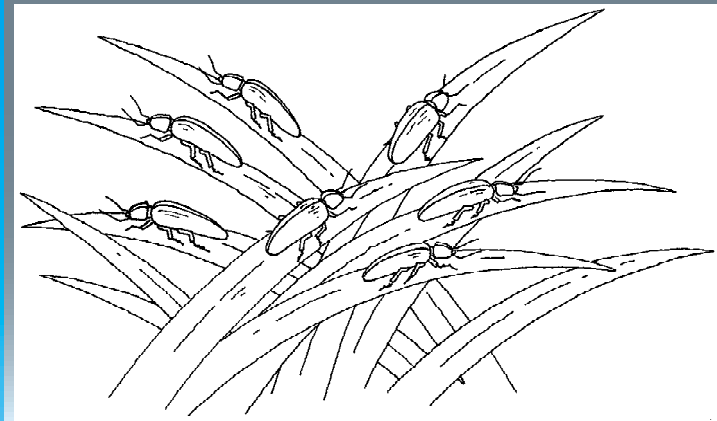



# 序

# 章

現代の環境問題について





## 私たちの生活が引き起こす環境問題

---

### かつての環境 と共生した 暮らし

私たちの先祖は、比企丘陵の豊かな緑と、都幾川をはじめとする清流が織りなす豊かな自然環境のもとで、農林業を中心とした生活を営みながら、自然と調和した歴史と文化を培ってきました。

人口も少なく生活様式も質素なこの時代には、生活からの環境への負荷も小さく、自然界の有する浄化能力を超えることはなく、環境が著しく悪化するには至りませんでした。例えば、家庭からの排水に含まれる有機物は、土壌に浸透したり川を流れる中で微生物により利用され、分解されることで、川の水はきれいに保たれていました。

集落の周りには、人々が薪木を拾ったり、落ち葉を堆肥に利用する里山がありました。これらの里山や田畑には、たくさんの生物が棲んでおり、豊かな生態系が形成されていました。人間は「環境と共生した暮らし」を送っていたと言えるでしょう。

### 環境の変化

ところが、昭和30年代に始まる高度経済成長を背景に、首都圏には急激に人口が集中するとともに、人々の生活様式も大きく変わりました。東松山市においても、農地や丘陵部の豊かな緑が、広大な面積にわたって住宅地やゴルフ場などにとって替わり、本市の環境の中で育まれてきた生態系も大きく変化しました。


### 現代の 環境問題

このような時代には、環境中に排出される負荷は自然界の浄化能力をはるかに超えるほどに増大し、家庭からの生活排水により川の水は汚れ、自動車の排気ガスなどにより大気が汚染されてきました。これらの空気や水の汚れは、野生生物だけでなく私たちの健康も蝕んでいます。

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会においては、社会活動の過程で排出される二酸化炭素などが原因となり地球温暖化が進むなど、種々の環境問題は地球規模に拡大し、近い将来において、私たち人間の生存基盤が危ぶまれるほど深刻化しています。

このように、現在、私たち一人ひとりの暮らしは、東松山市の地域環境だけではなく、地球規模にまで影響を及ぼしています。

現代の環境問題は、地球全体の環境を守る視野で考え、日々の生活や身近な地域から改善していかなければならない人類共通の大きな課題です。



## 現代に生きる私たちは、将来に向けてなにをすべきなのか？

**私たちの義務** 私たちの現代の生活は、先祖の時代から受け継がれてきた豊かな自然環境のもとに成り立っており、私たちには、未来の子孫に豊かな環境を受け渡す義務があります。

そのために私たちは、大量生産・大量消費・大量廃棄型社会を、日々の生活の中で足元から見直し、物質面での豊かさだけではない「本当の豊かさ」とは何かを問い直すことが必要になってきています。

**私たちが将来に向けて取り組むべきこと** そこで、私たちには、日々の暮らしの中で、先祖が育んできた自然と共存する暮らし方に学び、自然を守るとともに、自動車に乗ることを控えたり、ものやエネルギーを大切に使用したりすることを積み重ねていくことが求められています。

これらの取り組みは、私たちが住むまち東松山市の環境を良くするためだけでなく、日々の暮らしの中で排出している二酸化炭素の排出量を抑えることで地球温暖化の防止に貢献するなど、地球環境問題への取り組みにもつながるものです。

環境を保全し、良くしていくためには、市民、事業者、市の三者が互いに連携・協力しながら取り組みを進めることが求められます。

**東松山市環境基本計画の策定** そのためには、「将来の東松山市の望ましい環境とは、どのようなものか。」を定め、実現のための目標を立て、その目標に向けて「それぞれの立場でできること、行うべきこと」を定めた地域共通のビジョンを三者が共有し、取り組みを実践することが大切です。

現代に生きる私たちは、環境に大きな負荷を与え続ける生活をあらため、私たちの子や孫の世代に、豊かな環境を引き継ぎ、創造していく義務があります。そのために私たちが将来に向けて行うべきことを定める計画として、「東松山市環境基本計画」をつくります。